

令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	水害・地震液状化対策実践研修事業
事業主体 (連絡先)	諏訪市小川区 諏訪市豊田1702番地
事業区分	(4) 安全・安心な地域づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	574,970円 (うち支援金: 431,000円)

事業内容

小川区は区内に三河川を擁するとともに諏訪湖に接する低地で浸水・液状化の危険度が高いため、区として浸水・液状化を想定した備えを整え、独自に取り組んでいる防災活動等と結びつけて逃げ遅れを出不さず安全に避難が行える地域づくりに取り組んだ。

- ・ 本事業の説明／投光器を使用した夜間出動訓練の開催：8月1日 小川公会堂・武井田川 31名参加
- ・ 本事業の説明／投光器を使用した夜間訓練（実践研修会）の開催：9月22日 武井田川 58名参加
- ・ 「災害時地域で要援護者を支援するために」講習会の開催：9月22日 小川公会堂 58名参加



【投光器を使用した夜間訓練】

【目標・ねらい】

- ①水害危険度の再認識
- ②投光器の配備
- ③水害等を想定した防災・避難体制の構築と区民防災意識の向上

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①事業開始に先立つ関係者（自主防災会役員等）への事業内容説明や防災講演会を通じて水害危険度の高い地域であることを学び、再認識できた。
- ②支援金を活用して指定避難所となる小川公会堂に投光器を配備でき、夜間の災害への機動力が高まった。
- ③災害対応に3年計画で取り組み、ライフジャケット、防災用ボート、投光器を順次配備できた。これらの取り組み（講習会・実践研修）を新聞報道され、参加者はもとより本事業に関する区民の認知度が上がり、防災意識の向上に役立った。

※自己評価【 B 】

【理由】

- ・ 投光器の配備を予定通り完了。
- ・ 夜間に発生する災害にも対応可能となりより一層地域の防災対応力の強化と区民の防災意識の向上に繋がった。本事業参加述べ100名以上

今後の取り組み

本年度は、事前説明会、実行委員会、事業実施後の活動検討会などを含め、延べ約100名以上が本事業への参加を通じて防災意識と実践力を高め、次年度以降の水害を想定した地域防災活動を展開するに際しての人的基盤となった。本事業は単年度で終わるものではなく、様々な活動や人材・資機材を追加して地域防災力を地道に強化する事業であることから、次年度以降も以下について取り組みたい。

- ア) 水害・地震液状化を想定した防災訓練の計画
- イ) 防災に関する区民向け研修の継続と区民の防災意識の継続
- ウ) 災害に必要なと思われる装備の追加検討

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある